

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	建築資材の資源循環研究小委員会		主 査 名：野口 貴文 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (環境配慮運営委員会)		委員長名：橘高 義典 主 査 名：小山 明男
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	初年度： ・建築物を構成する構造材・下地・仕上材に関して、実構造物に対する過去から近年の資源投入量（ストック量）を調査する。 ・建築物の解体、中間処理、最終処分段階での排出・再利用量などを調査する。 2 年度： ・各段階での排出物の資源循環を促進するために、各種建材ごとのその技術・システムのあり方を調査し、データとしてとりまとめる。 ・「建築分野における資源循環の考え方（案）」（仮称）を制定し、出版する。		
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：無 主査：野口貴文（東京大学） 幹事：小山明男（明治大学）、田村正樹（工学院大学） 委員：古賀純子（芝浦工業大学）、越中谷光太郎（日本建築仕上材工業会）、立屋敷久志（ダイヤリフォーム）、内田陽一（塩ビ工業・環境協会）、小林修一（板硝子協会）、北坂昌二（石膏ボード工業会）、宮内亨（ALC 協会）、佐々木哲也（高橋カーテンウォール工業）、木村祥平（三菱マテリアル）、高木健治（ノザワ）、辻大二郎（竹中工務店）		
設置 WG (WG 名：目的)	特定建設資材廃棄物 WG		
2020 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	コロナ禍により、2020 年度は委員会開催が困難となったが、2020 年度後半より遠隔会議システムで実施し、所定の調査研究を行うことができた。
委員会活動の問題点 ・課題	オンラインによる会議を活性化し、成果のとりまとめに向けて検討を進める。なお、2021～2022 年度にも小委員会・WG を継続し、成果のとりまとめを検討する。